芦花　高等学校 令和5年度（1学年用）　教科　芸術Ⅰ　科目 工芸Ⅰ

教　科：　芸術Ⅰ　　科　目：　工芸Ⅰ　　単位数：　2　単位　2

対象学年組：第　1 学年　12 HR ～　17 HR

教科担当者：

使用教科書：　（　日本文教出版　工芸Ⅰ　）

教科　芸術Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造しようとしてい

科目　工芸Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造形的な見方、考え方を働かせて美的体験を重ねて、生活や社会の中の工芸や工芸の伝統と文化に幅広く関わる資質・技能を身に付け、工芸の多様性について理解している。	工芸の素材の特性を知り、用の美を感受しながら知覚したことと感受したことの関わりについて考え、自分の表現の意図をもって制作している。	様々な工芸作品やその文化と豊かに関わり、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	紙立体 【知識及び技能】 紙の性質を知り、紙立体の構造を理解して制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 紙立体の構造を理解した上で、自分の制作意図をもって制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 造形的な見方、考え方を持って主体的に取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	○		○	【知識・技能】 基本的な構造を使って、新しく構築できる 【思考・判断・表現】 紙の性質を理解して自分の表現意図を持って制作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 創意工夫して主体的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	木工 【知識及び技能】 木の素材の特性を理解して制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 素材の性質を理解した上で、自分の表現意図をもって制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 創意工夫して主体的に制作する。	・指導事項　木工 ・教材　桂材	○	○	○	【知識・技能】 木の素材の特色を理解している。 【思考・判断・表現】 道具を正しく使用して自分の表現意図をもって制作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な木工品に触れ、その多様性を理解して制作しようとしている。	○	○	○	18
2学期	陶芸 【知識及び技能】 ・土の特質を知り、形成の技術を理解して制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の表現意図を持って制作する。 【学びに向かう力、人間性】 ・陶芸の歴史、文化に触れ、その」多様性を理解して積極的に学習活動に取り組む。	・指導事項　陶芸（手皮練り技法） ・陶芸粘土	○	○	○	【知識・技能】土の性質を理解して制作できる。 【思考・判断・表現】手皮練りの技法を理解して制作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】陶芸の多様性を理解して制作しようとしている。	○	○	○	18
	革工芸 【知識及び技能】 ・革の性質を理解して制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・革工芸の技法を理解して制作する。 【学びに向かう力、人間性】 ・革工芸の伝統や文化を知り主体的に取り組む。	・指導事項　革工芸（定期入れ） ・革素材	○		○	【知識・技能】革の性質を理解して制作できる。 【思考・判断・表現】技法を理解して自分の表現意図を持って制作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】革工芸の多様性を理解して主体的に制作しようとしている。	○	○	○	10
3学期	籐 【知識及び技能】 ・籐の性質を理解して制作する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・籐細工の用の美を感受しながら制作する。 【学びに向かう力、人間性】 ・籐細工の伝統と文化にふれ、主体的に制作に取り組む。	・指導事項　籐細工（かご） ・籐ひも		○	○	【知識・技能】籐の特質を理解して制作できる。 【思考・判断・表現】用の美を感受しながら制作できる。 【学び】籐で編まれた作品にふれ、伝統と文化に関わり主体的に制作しようとしている。	○	○	○	16
										合計
										70